

|                                       |   |  |                       |
|---------------------------------------|---|--|-----------------------|
| 大 学 名                                 | 神戸市看護大学   | 担 当 教 員 氏 名  | 宮下 ルリ子 教授             |
| 開 講 期 間                               | 前期 (4月～5月)  | 開講曜日・時間  | 水曜 5限 (16:30～18:00)   |
| 履 修 条 件                               |   | 募 集 人 員  | 10名以内                 |
| 教 室                                   | 未定  | 連 絡 先  | gakumu@kobe-ccn.ac.jp |
| 授 業 形 態                               | 対面  |  |                       |
| 授 業 方 法                               | 講義  |  |                       |
| 学 習 目 標                               | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウイメンズヘルスの必要性、セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (SRHR) を説明できる。</li> <li>2. 自分のジェンダーを知る。</li> <li>3. 男女共同参画の施策を説明できる。</li> <li>4. 月経にまつわる障害とその対処を説明できる。</li> <li>5. 人工妊娠中絶と避妊の概要、女性の心理、論理的対応を説明できる。</li> <li>6. 出産時の陣痛促進剤、会陰切開と女性の意思決定支援を説明できり。</li> <li>7. 不妊治療やそのトレンド、不妊治療を受ける女性の心理およびその影響を説明できる。</li> <li>8. ドメスティック・バイオレンス・性暴力被害の概要、その影響要因、ケアの実際を説明できる。</li> <li>9. 更年期女性の健康の概要、その対処を説明できる。</li> <li>10. 障害のある女性の健康の権利やそのケアについて説明できる。</li> </ol> |  |                       |
| 授 業 概 要                               | ジェンダーの視点で、乳幼児期、思春期、成熟期、更年期、老年期における女性の健康問題を考える。これらの内容を通して、女性が健康に生きていくことの理解を深める。さらに、女性の健康を社会的な視点からも捉え、社会問題としても考える。  |  |                       |
| 授 業 時 間 学 習 以 外 の 学 習 ( 準 備 学 習 含 む ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内の女性センター／男女共同参画センターを訪問・見学を行う。</li> <li>・2回目以降、授業回毎にそのテーマに関する女性の声を書籍、Web、インタビューなどを用いる収集する。</li> </ul>   |  |                       |
| 授 業 計 画                               | ※ 順番 (進度) は、1回目講義時に提示します。   |  |                       |
|                                       | 1   | ウイメンズヘルスとは/リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方、ジェンダーと女性の健康、男女共同参画とは、神戸市男女共同参画センターの役割 (ゲスト: 神戸市 男女共同参画センター長) |                       |
|                                       | 2   | 月経にまつわる障害とその対処   |                       |
|                                       | 3   | 人工妊娠中絶と避妊  |                       |
|                                       | 4   | 陣痛促進剤、会陰切開とお産  |                       |
|                                       | 5   | 不妊にまつわる悩み  |                       |
|                                       | 6   | ドメスティック・バイオレンス・性暴力被害とケア  |                       |
|                                       | 7   | 更年期女性の健康、障害のある女性の健康  |                       |
| 評 価 方 法                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●プレゼンテーション評価 (30%) プレゼンテーションをしたい内容を選択し、当日3名がPPTを用いてプレゼンテーションを行う。(5～10分/人) 授業までにパワーポイント資料を提出。</li> <li>●女性センター／男女共同参画センターレポート (30%) 自分で決めた地域の女性センター／男女共同参画センターレポートの「テーマは①どこに行ったのか。センターの概要、②センターに行ったこと感想③センターが女性の健康に果たす役割を考える」</li> <li>●最終のレポート (40%) 科目内容の中からテーマを選んで、A42枚にまとめる</li> </ul>  |  |                       |
| 教 科 書                                 | 特になし  |  |                       |
| 参 考 図 書                               | <p>「女性の看護学」: メヂカルフレンド社<br/> 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」: メディカ出版<br/> 「ドメスティック・バイオレンスの視点」 朱鷺書房</p> <p>これ以外の参考文献、参考資料などは授業中に指示します。プリント資料を配布します。</p>  |  |                       |
| 特 記 事 項                               | <p>講義だけでなく、ワークや視聴覚をたくさん取り入れたいと思っています。</p> <p>社会の中で、女性自身も気づかない健康課題が山積しています。アンテナを高くもち、事象から分析する力を養ってください。</p> <p>自分で決めた地域の女性センター／男女共同参画センターに見学に行ってください。そのセンターの研修を受講してみるのも理解を深めるひとつになります。</p>   |  |                       |